

研究支援部門

4月

- 2023年度小樽商科大学出版会出版企画提案書及び出版支援の募集(2022年12月23日～2023年8月31日)
- グローカルプロジェクト推進公募開始(募集期間：4月11日～5月12日)

5月

- 2023年度研究支援部門支援事業 募集開始
 - ◇ 国際学会等発表支援
 - ◇ 学術論文外国語添削料補助
 - ◇ 大学院生学会等発表支援
 - ◇ 科研費A評価再チャレンジ支援
 - ◇ 登録研究会支援
- 重点領域研究支援事業を開始

7月

- 商学討究第74巻1号刊行
- 2023年度科研費セミナー開催(3大学合同オンライン開催)
- 2024年度科研費申請書レビューサービス開始

9月

- 「研究活動スタート支援」再チャレンジ支援 開始

10月

- 2023年度科研費交付決定者対象説明会開催(オンライン)

11月

- 小樽商科大学出版会出版企画提案書採択通知(採択数：1件)

12月

- 商学討究第74巻2・3号及び人文研究第146輯刊行
- 2024年度小樽商科大学出版会出版企画提案書及び出版支援の募集(2023年12月8日～2024年8月30日)

2月

- グローカルプロジェクト「榎本石鹸の改良と商品化検証」および「榎本武揚と小樽商科大学の関わりを紐解く」において学内教員や市民を対象にしたシンポジウム開催



グローバルプロジェクトシンポジウムの様子

3月

- 2024年度研究支援部門 支援事業募集開始
 - ◇ 国際学会等発表支援事業
 - ◇ 学術論文外国語添削料補助
 - ◇ 大学院生学会発表支援
 - ◇ 科研費A評価再チャレンジ支援
 - ◇ 登録研究会支援
- 商学討究第74巻4号及び人文研究第147輯刊行
- 科研費勉強会(オンライン開催)
- グローカルプロジェクト成果報告会

グローバルプロジェクトは、グローバル時代における地域(北海道)の教育研究拠点として、地球規模の視野で考え、地域視点で行動するグローバル人材の育成に資する教育研究プロジェクトを学内公募し、研究費を助成している。

教育ビジョン・研究ビジョン・社会貢献ビジョンの3つのミッションに資するプロジェクトを対象とし、全学的に公募を行い、プロジェクトを実施した。(実施したプロジェクトの詳細は、P20参照。)

また新たな取り組みとして、プロジェクトの成果を発表する「グローバルプロジェクト成果報告会」を実施した。



グローバルプロジェクト成果報告会の様子

2023年度「グローバルプロジェクト推進公募事業」採択・実施事業一覧

CGSでは、本学の中長期ビジョン・戦略に資するプロジェクトに対して助成を行う学内公募事業「グローバルプロジェクト」を実施しています。2023年度に実施した事業は以下のとおりです。

採択プロジェクト名	プロジェクト代表者
区分A(1件あたり50万円を上限)	
榎本石鯨の改良と商品化検証 －化学・歴史学・商学による文理融合研究－	一般教育系 教授 沼田ゆかり
ニューロダイバーシティ・Web3.0時代における生業づくりエコシステム形成プロジェクト	アントレプレナーシップ専攻 准教授 藤原 健祐
区分B(1件あたり25万円を上限)	
北海道の侵略的外来植物が植食者に対する抵抗性を獲得するメカニズムの解明	一般教育系 准教授 片山 昇
小樽から世界へ －国際法模擬裁判JAPANCUPへの挑戦－	企業法学科 准教授 張 博一
小樽の地域資源としてのフェリー航路の大学生向け利活用のための取組：北信越の海運関連企業のインターンシップ企画に注目して	企業法学科 教授 小林 友彦
旭川家具産業集積における新規創業企業の成長とその意義	商学科 教授 林 松国
ソーシャルメディア時代における「道の駅」観光情報発信機能の強化	グローバル戦略推進センター 学術研究員 大湊 亮輔
榎本武揚と小樽商科大学の関わりを紐解く －附属図書館史料展示室再編に向けた自校史の再構築－	一般教育系 准教授 醍醐 龍馬
テキスト読み上げ音声合成のキャラクター「小春六花」を用いた小樽観光案内に関する調査	社会情報学科 教授 木村 泰知

PICK UP 1

榎本石鯨の改良と商品化検証 －化学・歴史学・商学による文理融合研究－



沼田教授が実施した「榎本石鯨の改良と商品化検証－化学・歴史学・商学による文理融合研究－」では、製作した榎本石鯨のテスト販売を行った。商品化を実現させ、地域活性化の新たな材料となることを目指す。

PICK UP 2

テキスト読み上げ音声合成のキャラクター「小春六花」を用いた小樽観光案内に関する調査



木村教授が実施した「テキスト読み上げ音声合成のキャラクター「小春六花」を用いた小樽観光案内に関する調査」では、小樽市の観光問題の課題解決に向けて、ChatGPTを用いた小樽観光案内システムを市内の運河プラザに設置し調査を行った。